



日本ベンジャミン人間性英才学校
Japan Benjamin School for Character Education

ベンジャミン

通信

2017/8/24発行

第26号

第2回
中央ワークショップ

日本ベンジャミン人間性英才学校からグッドニュースや生徒たちの成長をお届けします

第2回 中央ワークショップ

地球のために
アクション！

日本ベンジャミン人間性英才学校は8月18日〜20日、「私たちは一つ！地球の為にアクション」をテーマに第2回中央ワークショップを行いました。



ユネスコが定めた「世界を変えるための17の目標(Sustainable Development Goals)」をもとに関心のあるテーマについて議論し、最終日に行う「地球市民青少年サミット」での発表に向けて準備しました。



今回も韓国ベンジャミン学校から6人の生徒が参加し、言葉が通じないながらも、地球市民という共通の価値を通して一つになりました。

世界に意識を広げるだけではなく、脳教育トレーニングを通して自分の内面と向き合い、これまでの自分自身を省みて、これからについて整理する時間も持ちました。

また地域の方を訪問して青少年サミットへ積極的にお誘いし、短い時間で17人の予約を頂きました。目標の5人を上回る7人の予約を頂いたチームもあり、「選択すれば成し遂げられる」ことを体感しました。



地球市民
青少年サミット

20日、志摩市商工会で行われた青少年サミットには、三重県議会議員中嶋年規メンターはじめ、一般の方が多数お越しくださいました。



4つのチームが、「作る責任・使う責任」「飢餓をゼロに」「安全な水とトイレを世界に」「平和と公正をすべての人に」について、地球市民リーダーとして自分達にどんなアクションができるのか発表しました。食事を残さないようにするだけではなく、その様子をSNSで発信していくことや、毎月15日の地球の日にアルバイトをして稼いだ日当を寄付するなど、具体的なアイデアが出てきました。中嶋氏からは、メンター講義と温かい激励をいただきました。

今回のワークショップは、自分が地球にとってどんな存在で、何をすべきなのか明確になる時間でした。



ベンジャミン2期もそろそろ折り返しです。個人プロジェクトなどを通して、今後さらに成長する生徒たちに変わらないご支援をよろしく願っています。

ベンジャミン人間性英才学校は

ブレインワークショップ(メンター特別講義、ベンジャミンリーダーシップ教育、地球市民教育など)、ベンジャミンプロジェクト(世界に役立つ独自のテーマを決めてメンターのサポートを受けながら1年間生徒が自ら進行していくプロジェクト)、メンタリング(様々な分野のメンターから個別にアドバイスをもらう)などのプログラムで、自己啓発、自己省察、進路体験活動などをしながら、自分で人生を作っていく力を養います。

